



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 7年 6月 6日
第 5 号

「あなたにとって遊びでも…」 いじめ防止月間

6月は「いじめ防止月間」です。5月の中旬にいじめに関するアンケートを実施し、アンケートをもとに、いじめ事象の的確な把握とていねいな聞き取り、指導を進めているところです。

6月の全校朝会では、毎年、いじめについて考えるきっかけになるような話をする
とにしています。おとしは、いじめの矢について、昨年は絵本「ことばのかたち」(作

おーなり由子 講談社)を紹介し言葉の暴力について話をしました。今年は、イソップ童話の「こ
どもとかえる」の話をしました。この物語は、いじめについて扱った「わたしのいもうと」(作 松谷みよ子



ある日のこと、5、6人の子どもたちが池のそばで遊んでいま
した。その中の2、3人がおもしろ半分に、水の中へ、石をポン
ポン投げ始めました。ところが、池の中には、たくさんのカエル
が住んでいたのです。子どもたちの投げた石に当たって、ひどい
けがをしたカエルが大勢いました。

とうとう、がまんができなくなって、カエルの
中で、一番としをとっているカエルが、池から出
てきて言いました。「池に石を投げないでください」
すると、子どもたちは、「ぼくたちは何も悪いことをしていない
よ。ただ、石を投げて遊んでいるだけだよ」と答えました。

しかし、としよりのカエルは、「それはわかっています。でも
投げないでください。あなたたちにとって遊びでも、私たちはひ
どいけがをします。私たちにとっては命の問題なのです」
といました。子どもたちは、もう言い返す言葉もなく、みんな
こそこそと、向こうの方へ行ってしまうしました。

ウィキソース「イソップ童話集/こどもとかえる」を参考に全校朝会向けに一部書き換え

偕成社)の作者のあとがきで取り上げ
られていたものでした。

いじめはどんな理由があっても決し
て許されるものではありません。子ども
たちもいじめはよくないことだと知って
います。それでも、ときには、自分に相
手を傷つける意図がなくても、知らな
いうちに傷つけてしまうことはあるもの
です。また、自分には遊びや楽しいこと
であっても、相手にとっては迷惑なこと、
いやなことがあります。

以前の学校で、「だって、あの子も
笑っていたもん」と答え、自分は悪くな
いと言った子がいました。その子に
は、相手も「楽しんでいる」と見えたの

かもしれません。でも、「笑って見える顔」のかげで、相手の子は「楽しくな
い」「つらい」と感じていたのです。「やめて」と言えることはもちろん大切

ですが、本当にこれで相手は喜んでいるのかな、自分なら同じ
ことをされて平気なのかな、などと振り返り、お互いに相手の気
持ちや立場を想像し気遣うことができたらいいなと思います。



交通安全教室 1年→



がっこうたんけん 2 年 生

5月の末に、2年生は1年生を連れて「学校たんけん」を行いました。理科室や音楽室、給食室、職員室などの特別教室を、少人数のグループに分かれて案内する生活科の学習です。

実は、5月の中頃の中休み、6人の2年生の子どもたちから取材を受けていました。「校長室ではどんな人といちばん多く話をしますか」など3つの質問です。校長室の扉の前で画用紙を掲げて、「1年生がいるつもり練習」をしている姿を何度か見かけたことがあり、もうそろそろだねと



その子たちと話をしていました。

得意げな表情と緊張気味の表情とが見え隠れする2年生。校長室前では、取材の内容もきちんと入れて紹介してくれていました。

めあてと振り返りで育む 学びの力

4年生の運動場体育では、フラッグフットボールに取り組んでいます。タックルの代わりに両腰にぶら下げた布(フラッグ)を引き抜きます。ボールはラグビーボールのような形状で小さく柔らかいフラッグフットボール用のものを使用しています。

一度集まってめあてや注意事項を確認すると、すぐに5人のチームごとに輪になって準備運動を始めました。それが終わると、2チームでウォーミングアップのためのボールパス、フラッグを取る方と取られないように身をかわして相手陣地に攻め入る方とに分かれた1対1の対戦、全員が敵になってフラッグを取り合う鬼ごっこの3つのミニゲームを、先生の合図できびきびと取り組んでいました。一連の流れと目的を一人ひとりが理解して、子どもたちが自主的に動いているように見えました。もちろん、子どもどうしの活動にはトラブルや失敗、反省はつきものです。授業の最後には、よかったことや工夫、課題などを出し合い、気づきを育て次へとつ



フラッグ取り鬼ごっこ

なげる振り返りが行われています。

めあてをもって取り組み、自らの学習を客観的に振り返ることは主体的に学ぶ力を育むうえで大切とされています。よりよい振り返りをするには簡単ではありませんが、学びの力を育むため、工夫や模索を続けています。



モンシロチョウ幼虫の観察3年



調理実習野菜炒め 6年